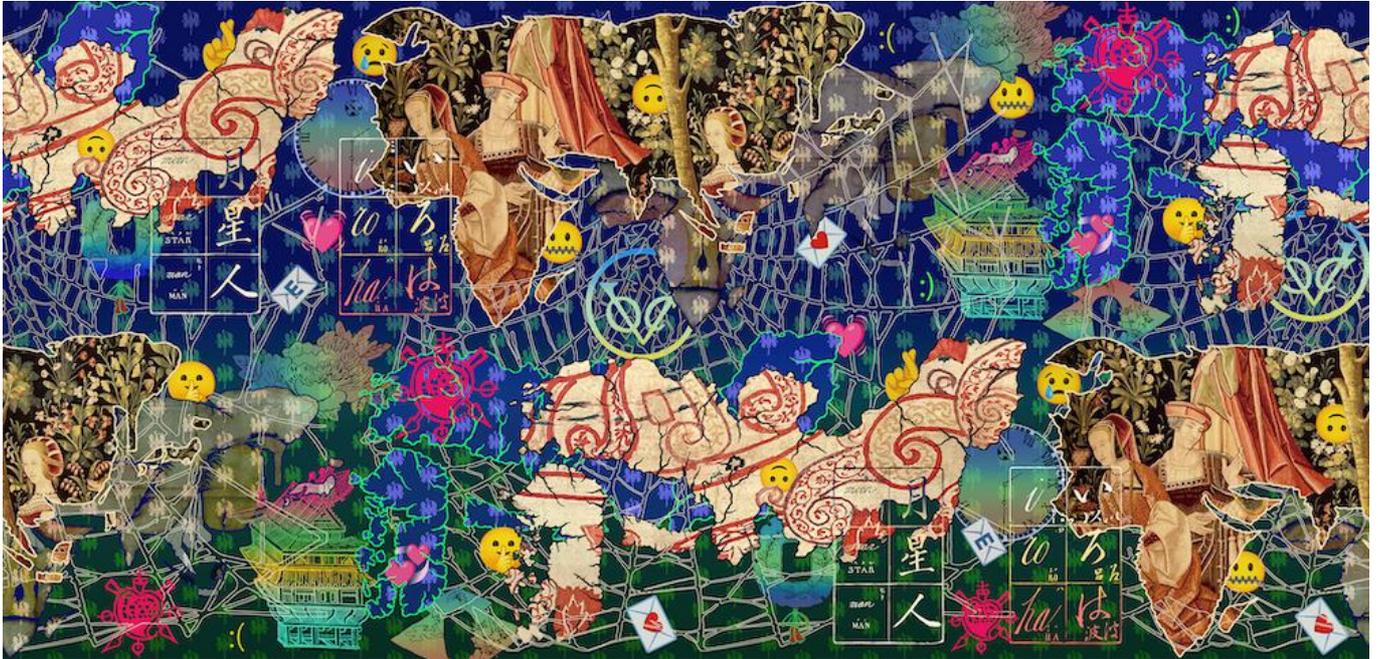


# KYOTO INTERCHANGE

プレスリリース

2023年12月吉日

## 展覧会「手塚愛子」開催のお知らせ



本展展出作品：手塚愛子《閉じたり開いたり そして勇気について》の織物デザイン原画  
2023年、ジャカード織，織物製作：加地織物（京都西陣織）

この度、京都を拠点としたアート・インスティテューションであるKYOTO INTERCHANGEは2024年1月22日（月）から3月17日（日）にかけて、展覧会「手塚愛子」を開催いたします。

KYOTO INTERCHANGEはアーティストの美的・社会的役割を最大限発揮するために京都で設立されたアート・インスティテューションです。2022年の設立から「金サジ、マユノキキ、山本麻紀子」「田中功起」「上田假奈代」「金氏徹平 森千裕」など意欲的な展覧会・イベントを続けて開催してきました。

この度、本シリーズの第5回として展覧会「手塚愛子」を開催いたします。

日本とベルリンを拠点に世界で活躍する現代美術作家・手塚愛子は、絵画の不可逆な構造を解明する方法として生成過程を反転できる織物や刺繍に着目し、糸をほどきその構造を表出させる独自の手法で制作を行う事で知られています。手塚によって膨大な時間をかけ糸をほどかれた織物や刺繍は、美しい連なりとして物理的に再構築されますが、そこで表れるのは構造だけではありません。糸をたどり、織り直すことは、それを形作ってきた制度や歴史をたどり、織り直す事でもあります。糸を紡いだ人々の時間、イメージの折り重なり、織物に宿る歴史、制度など、過去の出来事と現在を繋いでいく試みといえます。

本展では新作の織物《閉じたり開いたり そして勇気について》を中心に展示が展開されます。その大型の新作には手塚が長崎の出島やオランダのライデンでリサーチし収集した事物や、現代の絵文字、言葉によってAI画像生成されたイメージが複層的に散りばめられています。1641年にオランダ商館が平戸から長崎の出島に場所を移したことから長崎出島とオランダの関係は始まり、その後200年以上にわたって貿易が行われました。そこでは生糸を中心にヨーロッパ原産の毛織物類も重要な輸入品であったとされています。また本作は、織物についての高い技術力を持つ京都・西陣の工房（加地織物）との協業によって制作された経緯を持ちます。京都西陣は日本を代表する高級絹織物の産地であり、今回のプロジェクトは、この職人達との協働を通し

# KYOTO INTERCHANGE

て、新しい織物を開発するという技術的な試みでもあります。世界各地で展示を行い、現代美術の領域において既製の織物を自覚的に用いてきた手塚は、日本と西欧、美術と工芸（または装飾）という領域の関係についても考察を続けてきました。開くこと、閉じることをめぐる手塚の航海の、その継続的な取り組みの成果が本展で発表されます。どうぞご覧ください。

手塚愛子  
AIKO TEZUKA

22 JAN  
— 17 MAR  
2024

KYOTO INTERCHANGE

ドイツの弁護士に、君はBRAVE—勇敢だね、と言われたことがあります。単身で外国でアートなんかをしていることが、確かに母語の国で家族と暮らす人にとってはそう見えるのかもしれませんが、私にはその言葉が妙に印象に残りました。今回の新作は、長崎の出島を旅したことがきっかけとなっています。船しかなかった時代、死ぬかも知れないのになぜ彼らは危険を冒してまで海を渡り、知らないところへ行くのか。なぜ知らないものを見たいのか。私は弁護士に言われたことと出島を、なんとなく重ねて考えていました。開くことと閉じること、それに伴う勇気と好奇心について。

17世紀の鎖国に至った経緯と、江戸と明治の境目の開国の在り方が、私たちの現在の日本を決定づけました。海外から日本を見た時、その特殊性と近年さまざまな意味で閉じる方向に向かっている日本について、度々考えます。それはインターネットという仮想空間に翻弄されている現代人にとって、世界に向かって閉じること・開くこととはどのようなことだろうか、という問いとも重なります。

新作の織物には、鎖国以前の欧州の織物、出島の時代に作られた地図、オランダ東インド会社のロゴ、隠れキリシタンの更紗模様、江戸—明治期の作者不明のスケッチ、明治の開国時の英語辞書、欧州の時制を学ぶための時計、意思疎通のための絵文字、言葉によってAI画像生成されたイメージ、などが散りばめられています。謎解きのような、「読む織物」として。

手塚愛子

KYOTO INTERCHANGE

## 【概要】

イベント名 | 展覧会「手塚愛子」

会期 | 2024年1月22日(月) - 3月17日(日)

会場 | 半兵衛麩五条ビル 2F ホール Keiryu (〒605-0903 京都市東山区問屋町通五条下る上人町 433 五条大橋東南側)

開場時間 | 10:00-17:00

休館日 | 水曜日

料金 | 無料

主催 | KYOTO INTERCHANGE

協力 | 半兵衛麩、加地織物

ウェブサイト | <https://www.kyotointerchange.com/>

イベント | 2月3日(土) レセプション。また会期中にトークイベントが開催されます。決定次第お知らせいたします。

## 【アーティストプロフィール】

手塚愛子 (てづか あいこ)



美術作家。現在ベルリン在住。1976年東京生まれ。2001年武蔵野美術大学大学院油画コース修了(戸谷成雄氏に師事)。2005年京都市立芸術大学大学院油画領域博士(後期)課程修了(宇佐美圭司氏に師事)。2010年五島記念文化賞美術新人賞により渡英。その後文化庁新進芸術家海外研修制度により渡独。織られたものを解きほぐす作品を1997年より開始し、歴史上の造形物を引用、編集しながら新たな構造体を作り出す、独自の手法により制作を続ける。近年の展覧会は東京都現代美術館、福岡市美術館、国立新美術館、兵庫県立美術館、豊田市美術館、テキスタイル博物館(オランダ)、ヨハン・ヤコブ美術館(スイス)、韓国国立現代美術館(ソウル)、アヤラ美術館(フィリピン)、ターナー・コンテンポラリー現代美術館(イギリス)、ベルリンアジア美術館(ドイツ)、ハンブルク美術工芸博物館(ドイツ)、マンハイム美術館(ドイツ)、浙江美術館(杭州市、中国)、アムステルダム国立美術館(オランダ)などにて多数。

ウェブサイト: <http://aikotezuka.com/>

Instagram: <https://www.instagram.com/aikotezuka/>

# KYOTO INTERCHANGE

【参考作品】



左：《Rewoven (Abu Dhabi ver. 2018)》2018, 620 x 385 cm (installation size), Unravelled fabric, Textile re-woven with the threads of two unravelled fabric, Wooden frame

右：《A Study of Necessity (Satsuma-Buttons and Self-Orientalism) - 01》2019, H.430 x W.860 x D: 340 cm (installation), Jacquard weaving designed by the artist with coloured warp threads (materials of the threads are acrylic, cotton), Photo by Shintaro Yamanaka (Qsyum!)



左：《Lessons for Restoration (Fruits & Kin-Un)》2023, Unravelled fabric (souvenir from Florence), wooden panel, 73 x 67 cm

右：《Certainty / Entropy (Peranakan 2)》2014, Unravelled fabric designed by the artist with coloured weft threads, wooden frame 76 x 71.5 cm, Photo by Edward HENDRICKS

# KYOTO INTERCHANGE

## 【KYOTO INTERCHANGE について】

KYOTO INTERCHANGE はアーティストの美的・社会的役割を最大限発揮するために設立されたアート・インスティテューションです。私たちは、アーティストの創造性を作品の制作と発表に限定せず、社会全般へと拡張し、ひいては社会を変革する原動力へと変えていくことを目指します。各プロジェクトの実現に際しては、アーティストおよび関与者に対するオープンで公平な態度、繊細な配慮と深い敬意を常に念頭におきます。また私たちは、利益の最大化を求める売買ではなく、倫理の共有を伴う交換 (interchange) を原理としたエコノミーを提案します。アーティストの実践を強調することで、旧弊に囚われた多くのことが更新され、希望に満ちた未来のビジョンが可能となることを私たちは信じています。

### ◆ 広報素材のダウンロードはこちらから：

<https://www.dropbox.com/scl/fo/g000hpt6el260981wcajn/h?rlkey=ynwppw0acblh7g7lzshztl1q8h&dl=0>

### 【使用条件】

- \* 広報用画像を掲載する際、画像の加工・トリミングはご遠慮ください。また各画像にはクレジットを明記ください。
- \* 情報確認のため、お手数ですが掲載された内容を KYOTO INTERCHANGE まで共有いただきますようお願いいたします。
- \* アーカイブのため、紙媒体での掲載の場合は発行後弊社まで現物をお送りいただけますと幸いです。

本展広報に関する問い合わせ先：KYOTO INTERCHANGE（担当 | 櫻岡）

MAIL | [info@kyotointerchange.com](mailto:info@kyotointerchange.com) TEL | 080-1351-9467 <https://www.kyotointerchange.com/>